

建築用下塗塗料

Sealer series

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆☆
内装仕上げの制限なし

水 系

カチオンシーラーEPO
カチオンホワイトシーラーEPO
サミプラ
サミプラホワイト
AEPクリーンシーラー透明
AEPクリーンシーラーホワイト
EMワイドシーラー
リメークシーラーEPO
サミプラホワイトBIOシーラー
カチオンホワイトBIOシーラー
水性アスファルトシーラー

弱溶剤系・溶剤系

ワイドシーラーEPO
ワイド浸透シーラーEPO
ワイド浸透シーラーホワイト
ワイド浸透シーラーブラック
WBグリップシーラーEPO
ワイドシーラーBIO
ピナクルシーラー
ピナクルホワイト
ラフトンエポキシシーラー
クリヤーシーラーEPO
ホワイトシーラーEPO
アスファルトシーラー
ワンダープライマー

建築物のセメント系下地(コンクリート、モルタル、PCパネル、ALCパネルなど)せっこうボードなどに塗装する場合、その下地面を整え、上塗塗料の付着性、仕上がり性を良くする役割を担うのが下塗塗料(シーラー)です。シーラーの塗装目的は、①下地の吸い込み防止②上塗りの付着性向上③ぜい弱下地の補強④下地のアルカリ分・シミなどのブリード防止にあります。適合する下地および上塗塗料から、用途に合ったシーラー選択が必要です。



スズカファイン

目 次

水 系

カチオンシーラーEPO	1
カチオンホワイトシーラーEPO	2
サミプラ	3
サミプラホワイト	4
AEPクリーンシーラー透明	5
AEPクリーンシーラーホワイト	6
EMワイドシーラー	7
リメークシーラーEPO	8
サミプラホワイトBIOシーラー	9
カチオンホワイトBIOシーラー	10
水性アスファルトシーラー	11

弱溶剤系・溶剤系

ワイドシーラーEPO	12
ワイド浸透シーラーEPO	13
ワイド浸透シーラーホワイト	14
ワイド浸透シーラーブラック	15
WBグリップシーラーEPO	16
ワイドシーラーBIO	17
ピナクルシーラー	18
ピナクルホワイト	19
ラフトンエポキシシーラー	20
クリヤーシーラーEPO	21
ホワイトシーラーEPO	22
アスファルトシーラー	23
ワンダープライマー	24・25

水 系

カチオンシーラーEPO

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

規 格

特 長

塗料性状

適用素地

適 用
既存塗膜適 用
塗料・塗材
(主な商品名)標 準
塗装仕様

塗装方法

塗装上の
注意事項

ナノ・カチオン系特殊エポキシ変性アクリル樹脂系エマルションシーラー

JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント及びシーラー
合成樹脂エマルションシーラー

- 1) 水性で、VOC（揮発性有機化合物）成分および臭気が少なく塗装作業性が良好で、環境に優しい塗料です。
- 2) カチオン系で自己架橋形の特殊エポキシ変性樹脂により各種の下地や既存塗膜との付着性に優れています。
- 3) ナノサイズの微粒子エマルションにより脆弱下地への浸透性に優れ、吸い込み止め・アルカリ止め効果にも優れています。
- 4) 水系塗料を始め弱溶剤系塗料、弾性塗材など各種の上塗りが可能です。
- 5) 労働安全衛生法・消防法・有害物質の法的規制は受けません。

色	透明	有 害 物 質	含 有 し な い
乾燥時間(23℃)	1時間	形 態	1液
危 険 物 分 類	適用外	容 量	14kg

- コンクリート ●モルタル ●PC部材 ●コンクリートブロック ●スレート
- 窯業系サイディングボード ●せっこうボード ●けい酸カルシウム板（比重0.8以上）
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー、スズカブラサフ等を塗り付け、平滑にしてください。
- 合成樹脂エマルションペイント ●アクリル樹脂塗料 ●ポリウレタン樹脂塗料 ●塩化ビニル樹脂塗料 ●吹付タイル
- リシン(セメントリシンは除く) ●弾性リシン ●単層弾性 ●スタッコ(セメントスタッコ、弾性スタッコは除く)
- ※既存塗膜が2液溶剤系フッソ樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は施工できません。

- 低VOC、低臭形合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ)
- つや有合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールバリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、セラビューレーシリーズ、ビューレーシリーズ)
- 弱溶剤系塗料(ニューモルコンNEO、アクリルバーン、ワイドシリーズ、弾性ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエポーレシリーズ)
- 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
- 外壁用塗膜防水材(ラフトンボースイタイル)

塗 料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23℃)
カチオンシーラーEPO	100 (無希釈)	0.07~0.17	2時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタス・エフロレッセンス・汚れなどは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、希釈せずに、そのままご使用ください。
- カチオン系塗料ですので、一般的の水系塗料に使用したはけ・ローラーなどの用具を共用されますと固まりますので避けてください。
- 一般的の水系塗料や市販種ペン等と絶対に混ぜないでください。
- 小分けする際はプラスチック容器をご使用ください。金属容器の場合、サビを生じるおそれがあります。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下地の吸い込みが著しい場合は、2回塗りしてください。
- 気温が5℃以下・湿度が85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- 既存塗膜がターベンなどの弱溶剤で溶解する時、カチオンシーラーEPO+弱溶剤系の塗装工程は、リフティングを生じる場合がありますので、ご注意ください。
- スプレー式や臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

水 系

カチオンホワイトシーラーEPO

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

規 格

特 長

塗料性状

適用素地

適 用
既存塗膜

適 用
塗料・塗材
(主な商品名)

標 準
塗装仕様

塗装方法

塗装上の
注意事項

ナノ・カチオン系特殊エポキシ変性アクリル樹脂系エマルションシーラー

JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント及びシーラー 合成樹脂エマルションシーラー

- 1) 水性で、VOC（揮発性有機化合物）成分および臭気が少なく塗装作業性が良好で、環境に優しい塗料です。
- 2) カチオン系で自己架橋形の特殊エポキシ変性樹脂により各種の下地や既存塗膜との付着性に優れています。
- 3) カチオン系で自己架橋形の特殊エポキシ変性樹脂によりヤニ・シミをしっかりと固着させ、さらに反応硬化により緻密な塗膜を形成しますので、結露水などで再びヤニ・シミのブリードを生じさせることはありません。
- 4) ナノサイズの微粒子エマルションにより脆弱下地への浸透性に優れ、吸い込み止め・アルカリ止め効果にも優れています。
- 5) 水系塗料を始め弱溶剤系塗料、弾性塗材など各種の上塗りが可能です。
- 6) 上塗りのとまりをカバーします。
- 7) 労働安全衛生法・消防法・有害物質の法的規制は受けません。

色	白	有 害 物 質	含有しない
乾燥時間(23°C)	1時間	形 態	1液
危険物分類	適用外	容 量	14kg

- コンクリート ●モルタル ●PC部材 ●コンクリートブロック ●スレート
- 窯業系サイディングボード ●せっこうボード ●けい酸カルシウム板（比重0.8以上）
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー、スズカプラサフ等を塗り付け、平滑にしてください。

- 合成樹脂エマルションペイント ●アクリル樹脂塗料 ●ポリウレタン樹脂塗料 ●塩化ビニル樹脂塗料 ●吹付タイル
 - リシン(セメントリシンは除く) ●弾性リシン ●単層弾性 ●スタッコ(セメントスタッコ、弾性スタッコは除く)
- ※既存塗膜が2液溶剤系フッソ樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は施工できません。

- 低VOC、低臭形合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ)
- つや有合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールバリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、セラビューレシリーズ、ビューレシリーズ)
- 弱溶剤系塗料(ニューモルコンNEO、アクリルバーン、ワイドシリーズ、弾性ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエボーレシリーズ)
- 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
- 外壁用塗膜防水材(ラフトンボースタイル)

塗料【希釀剤】	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23°C)
カチオンホワイトシーラーEPO [清 水]	100 0~5	0.07~0.17	2時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

- 下地は、十分に乾燥させてください。（含水率10%以下、pH10以下）
- 下地のレイタス・エフロレッセンス・汚れなどは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- カチオン系塗料ですので、一般的の水系塗料に使用したはけ・ローラーなどの用具を共用されますと固まりますので避けてください。
- 一般的の水系塗料や市販種ペン等と絶対に混ぜないでください。
- 小分けする際はプラスチック容器をご使用ください。金属容器の場合、サビを生じるおそれがあります。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下地の吸い込みが著しい場合は、2回塗りしてください。
- 気温が5°C以下・湿度が85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- 既存塗膜がターベンなどの弱溶剤で溶解する時、カチオンホワイトシーラーEPO+弱溶剤系の塗装工程は、リフティングを生じる場合がありますので、ご注意ください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よざれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。（ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。）

水 系

サミプラ

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

特殊ウレタン変性アクリル樹脂系エマルションシーラー

規 格

JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント及びシーラー
合成樹脂エマルションシーラー

特 長

- 1) 水性で、VOC（揮発性有機化合物）成分および臭気が少なく塗装作業性が良好で、環境に優しい塗料です。
- 2) 特殊ウレタン変性樹脂により各種の下地や既存塗膜との付着性に優れています。
- 3) 水系塗料を始め弱溶剤系塗料、弾性塗材など各種の上塗りが可能です。
- 4) 労働安全衛生法・消防法・有害物質の法的規制は受けません。

塗料性状

色	透明	有 害 物 質	含有しない
乾燥時間(23℃)	1時間	形 態	1液
危 険 物 分 類	適用外	容 量	14kg

適用素地

- コンクリート ●モルタル ●PC部材 ●スレート
- せっこうボード ●けい酸カルシウム板（比重0.8以上、天井使用の場合のみ）
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー、スズカプラサフ等を塗り付け、平滑にしてください。

適 用
既存塗膜

- 合成樹脂エマルションペイント ●アクリル樹脂塗料 ●ポリウレタン樹脂塗料 ●塩化ビニル樹脂塗料 ●吹付タイル
 - リシン(セメントリシンは除く) ●弾性リシン ●単層弾性 ●スタッコ(セメントスタッコ、弾性スタッコは除く)
- ※既存塗膜が2液溶剤系フッソ樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は施工できません。

適 用
塗料・塗材
(主な商品名)

- 低VOC、低臭形合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ)
- つや有合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールバリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 可とう形および防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、セラビューレシリーズ、ビューレシリーズ)
- 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
- 外壁用塗膜防水材(ラフトンボースイタイル)
- 弱溶剤系塗料(アクリルバーン、1液ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ)

標 準
塗装仕様

塗料【希釈剤】	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23℃)
サミプラ [清 水]	100 0~5	0.07~0.11	3時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

塗装方法

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

塗装上の
注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。（含水率10%以下、pH10以下）
- 下地のレイタス・エフロレッセンス・汚れなどは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下地の吸い込みが著しい場合は、2回塗りしてください。
- 気温が5℃以下・湿度が85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- 既存塗膜がターベンなどの弱溶剤で溶解する時、サミプラ+弱溶剤系の塗装工程は、リフティングを生じる場合がありますので、ご注意ください。
- スプレー式や臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よがれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。（ボリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。）

水 系

サミプラホワイト

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

特殊ウレタン変性アクリル樹脂系エマルションシーラー

規 格

JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント及びシーラー
合成樹脂エマルションシーラー

特 長

- 1) 水性で、VOC（揮発性有機化合物）成分および臭気が少なく塗装作業性が良好で、環境に優しい塗料です。
- 2) 特殊ウレタン変性樹脂により各種の下地や既存塗膜との付着性に優れています。
- 3) 水系塗料を始め弱溶剤系塗料、弾性塗材など各種の上塗りが可能です。
- 4) 上塗りのとまりをカバーします。
- 5) 労働安全衛生法・消防法・有害物質の法的規制は受けません。

塗料性状

色	白	有 害 物 質	含有しない
乾燥時間(23℃)	1時間	形 態	1液
危険物分類	適用外	容 量	16kg

適用素地

- コンクリート ●モルタル ●PC部材 ●スレート
- せっこうボード ●けい酸カルシウム板（比重0.8以上、天井使用の場合のみ）
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー、スズカプラサフ等を塗り付け、平滑にしてください。

適 用
既存塗膜

- 合成樹脂エマルションペイント ●アクリル樹脂塗料 ●ポリウレタン樹脂塗料 ●塩化ビニル樹脂塗料 ●吹付タイル
 - リシン（セメントリシンは除く） ●弾性リシン ●単層弾性 ●スタッコ（セメントスタッコ、弾性スタッコは除く）
- ※既存塗膜が2液溶剤系フッソ樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は施工できません。

適 用
塗料・塗材
(主な商品名)

- 低VOC、低臭形合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ)
- つや有合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールバリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 可とう形および防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、セラビューレシリーズ、ビューレシリーズ)
- 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
- 外壁用塗膜防水材(ラフトンボースイタイル)
- 弱溶剤系塗料(アクリルバーン、1液ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ)

標 準
塗装仕様

塗料【希釈剤】	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23℃)
サミプラホワイト [清 水]	100 5~20	0.07~0.11	3時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

塗装方法

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

塗装上の
注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。（含水率10%以下、pH10以下）
- 下地のレイタス・エフロレッセンス・汚れなどは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 気温が5℃以下・湿度が85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- 既存塗膜がターベンなどの弱溶剤で溶解する時、サミプラホワイト+弱溶剤系塗料の塗装工程は、リフティングを生じる場合がありますので、ご注意ください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よざれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。（ボリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。）

水 系

系 統

規 格

特 長

塗料性状

適用素地

適 用
塗料・塗材
(主な商品名)

標 準
塗装仕様

塗装方法

塗装上の
注意事項

AEPクリーンシーラー透明

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

アクリル樹脂系エマルションシーラー

JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント及びシーラー
合成樹脂エマルションシーラー

- 1) 室内環境に配慮した安心な透明タイプの水系下塗塗料です。
- 2) VOC (揮発性有機化合物) をほとんど含まず、低臭です。
- 3) 吸い込み止め・アルカリ止め効果が優れています。
- 4) 労働安全衛生法・消防法・有害物質の法的規制は受けません。

色	透明	有 害 物 質	含有しない
乾燥時間(23°C)	1時間	形 態	1液
危険物分類	適用外	容 量	15kg

- コンクリート ●モルタル ●PC部材 ●スレート
- せっこうボード
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー、スズカプラサフ等を塗り付け、平滑にしてください。

- 低VOC、低臭形合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSi)
- つや有合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールバリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)(可とう形および防水形除く)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)(防水形除く)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)

塗料【希釀剤】	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23°C)
AEPクリーンシーラー透明 [清 水]	100 50~100	0.07~0.11	2時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタス・エフロレッセンス・汚れなどは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 気温が5°C以下・湿度が85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイト系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

水 系

AEPクリーンシーラーホワイト

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

アクリル樹脂系エマルションシーラー

規 格

JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント及びシーラー
合成樹脂エマルションシーラー

特 長

- 1) 室内環境に配慮した安心な水系塗料です。
- 2) VOC (揮発性有機化合物) をほとんど含まず、低臭です。
- 3) 吸い込み止め・アルカリ止め効果が優れています。
- 4) 上塗りのとまりをカバーします。
- 5) 労働安全衛生法・消防法・有害物質の法的規制は受けません。

塗料性状

色	白	有 害 物 質	含有しない
乾燥時間(23℃)	1時間	形 態	1液
危険物分類	適用外	容 量	18kg

適用素地

- コンクリート ●モルタル ●PC部材 ●スレート
- せっこうボード
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー、スズカプラサフ等を塗り付け、平滑にしてください。

適 用
塗料・塗材
(主な商品名)

- 低VOC、低臭形合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSi)
- つや有合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールバリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)(可とう形および防水形除く)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)(防水形除く)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)

標 準
塗装仕様

塗料【希釈剤】	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23℃)
AEPクリーンシーラーホワイト 【清 水】	100 10~30	0.07~0.11	2時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

塗装方法

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

塗装上の
注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタス・エフロレッセンス・汚れなどは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 気温が5℃以下・湿度が85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よざれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

水 系

EMワイドシーラー

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

特 長

塗料性状

色	透明	有 害 物 質	含有しない
乾燥時間(23℃)	1時間	形 態	1液
危険物分類	適用外	容 量	15kg

適用素地

- コンクリート
- モルタル
- PC部材
- スレート
- セッコウボード
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー、スズカプラサフ等を塗り付け、平滑にしてください。

適 用
塗料・塗材
(主な商品名)

- 低VOC、低臭形合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSi)
- つや有合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)(可とう形および防水形除く)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)(防水形除く)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)

標 準
塗装仕様

塗料【希釈剤】	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23℃)
EMワイドシーラー 【清 水】	100 100~150	0.07~0.11	2時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

塗装方法

- はけ塗り
- ローラー塗り
- スプレー塗り
- エアレス塗り

塗装上の
注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタス・エフロレッセンス・汚れなどを除去し、巣穴・不陸・目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどがないよう均一に塗装してください。
- 気温が5℃以下・湿度が85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よざれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

水 系

系 統

特 長

塗料性状

適用素地

適 用 既存塗膜

適 用 塗料・塗材 (主な商品名)

標 準 塗装仕様

塗装方法

塗装上の 注意事項

リメークシーラーEPO

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

可とう形エポキシ変性合成樹脂エマルション系改修用下塗材

- 1) 水性で、VOC（揮発性有機化合物）成分および臭気が少なく塗装作業性が良好で、環境に優しい塗料です。
- 2) 特殊なエポキシ変性により各種の下地や既存塗膜との付着性に優れています。
- 3) 既存塗膜のヘーアクラックを充填し、滑らかで緻密な肌のため、上塗りの艶のりが良く、美しい仕上がりが得られます。
- 4) 高隠ぺい性のため、上塗りのとまりをカバーします。
- 5) 水系塗料を始め弱溶剤系塗料、弾性塗材など各種の上塗りが可能です。
- 6) 労働安全衛生法・消防法・有害物質の法的規制は受けません。

色	白および、淡彩色	有 害 物 質	含有しない
乾燥時間(23℃)	1時間	形 態	1液
危 険 物 分 類	適用外	容 量	16kg

- コンクリート ●モルタル ●PC部材 ●窯業系サイディングボード ●せっこうボード
- ALCパネル※スタッコやALCなど巣穴の多い面へ塗装される場合は、置換泡の発生を防止するため、予めリメークブラやスカブラサフなどをウールローラーやブラシで塗り付けるなどして、十分に目止めしてください。

- 合成樹脂エマルションペイント ●アクリル樹脂塗料 ●ポリウレタン樹脂塗料 ●塩化ビニル樹脂塗料 ●吹付タイル
 - リシン(セメントリシンは除く) ●弾性リシン ●単層弾性 ●スタッコ(セメントスタッコ、弾性スタッコは除く)
- ※既存塗膜が2液溶剤系フッソ樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は施工できません。

- つや有り合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールバリア水性シリーズ)
- 低VOC、低臭形合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ)
- 内装用仕上塗材(スズカジュラク、ラフトンフレッシュシリーズ)
- 弱溶剤系塗料(1液ワイドシリーズ、ワイドシリーズ、弾性ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエポーレシリーズ)
- 可とう形および防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、セラビューレシリーズ、ビューレシリーズ)

塗料【希釈剤】	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23℃)
リメークシーラーEPO [清 水]	100 3~5	0.2~0.5	3時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタス・エフロレッセンス・汚れなどは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 気温が5℃以下・湿度が85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- 既存塗膜がターベンなどの弱溶剤で溶解する時、リメークシーラーEPO+弱溶剤系の塗装工程は、リフティングを生じる場合がありますので、ご注意ください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よざれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ボリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

水 系

系 統

特 長

塗料性状

適用素地

適 用
既存塗膜

適 用
塗料・塗材
(主な商品名)

標 準
塗装仕様

塗装方法

塗装上
の
注意事項

サミプラホワイトBIOシーラー

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

〈強力防かび・防藻〉特殊ウレタン変性アクリル樹脂系エマルションシーラー

- 1) 環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。
- 2) 水性で、VOC（揮発性有機化合物）成分および臭気が少なく塗装作業性が良好で、環境に優しい塗料です。
- 3) 特殊ウレタン変性樹脂により各種の下地や既存塗膜との付着性に優れています。
- 4) 水系塗料を始め弱溶剤系塗料、弾性塗材など各種の上塗りが可能です。
- 5) 上塗りのとまりをカバーします。
- 6) 労働安全衛生法・消防法・有害物質の法的規制は受けません。

色	白	有 害 物 質	含有しない
乾燥時間(23°C)	1時間	形 態	1液
危険物分類	適用外	容 量	16kg

- コンクリート ●モルタル ●PC部材 ●スレート
- せっこうボード ●けい酸カルシウム板（比重0.8以上、天井使用の場合のみ）
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー、スズカプラサフ等を塗り付け、平滑にしてください。

- 合成樹脂エマルションペイント ●アクリル樹脂塗料 ●ポリウレタン樹脂塗料 ●塩化ビニル樹脂塗料 ●吹付タイル
 - リシン（セメントリシンは除く） ●弾性リシン ●単層弾性 ●スタッコ（セメントスタッコ、弾性スタッコは除く）
- ※既存塗膜が2液溶剤系フッソ樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は施工できません。

- 強力防かび・防藻 エコシリーズ（エコEMアクリルBIO、エコウレタンBIO、エコシリコンBIO、エコフッソBIO）
- 内装用汚染除去性エマルションペイント（AEPモダンSi、AEPモダンBIO）
- 強力防かび・防藻内装用エマルションペイント（水性モルコンBIO）
- 複層仕上塗材（ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ）
- 防水形複層仕上塗材（ラフトン弾性ジャンボシリーズ）
- 外壁用塗膜防水材（ラフトンボースタイル）

塗料【希釀剤】	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23°C)
サミプラホワイトBIOシーラー [清 水]	100 5~20	0.07~0.11	3時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

- 下地は、十分に乾燥させてください。（含水率10%以下、pH10以下）
- 下地のレイタス・エフロレッセンス・汚れなどは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 気温が5°C以下・湿度が85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- 既存塗膜がターベンなどの弱溶剤で溶解する時、サミプラホワイトBIOシーラー+弱溶剤系の塗装工程は、リフティングを生じる場合がありますので、ご注意ください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よざれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。（ポリサルファイト系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。）
- 施工部位の構造や形状、常時湿気・水分が滞留しやすい壁面や植栽、森林などが隣接するような環境条件では防かび・防藻性が十分に発揮できない場合があります。

水 系

カチオンホワイトBIOシーラー

ホルムアルデヒド放散等級



内装仕上げの制限なし

系 統

〈強力防かび・抗菌〉

ナノ・カチオン系特殊エポキシ変性アクリル樹脂系エマルションシーラー

特 長

- 1) 環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、防かび・抗菌機能を有します。
- 2) 水性で、VOC（揮発性有機化合物）成分および臭気が少なく塗装作業性が良好で、環境に優しい塗料です。
- 3) カチオン系で自己架橋形の特殊エポキシ変性樹脂により各種の下地や既存塗膜との付着性に優れています。また、ヤニ・シミをしっかりと固着させ、さらに反応硬化により緻密な塗膜を形成しますので、結露水などで再びヤニ・シミのブリードを生じさせることはありません。
- 4) ナノサイズの微粒子エマルションにより脆弱下地への浸透性に優れ、吸い込み止め・アルカリ止め効果にも優れています。
- 5) 上塗りのとまりをカバーします。
- 6) 労働安全衛生法・消防法・有害物質の法的規制は受けません。

塗料性状

色	白	有 害 物 質	含有しない
乾燥時間(23℃)	1時間	形 態	1液
危険物分類	適用外	容 量	14kg

適用素地

- コンクリート ●モルタル ●PC部材 ●コンクリートブロック ●スレート
- 窯業系サイディングボード ●せっこうボード ●けい酸カルシウム板（比重0.8以上）
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー、スズカプラサフ等を塗り付け、平滑にしてください。

適 用
既存塗膜

- 合成樹脂エマルションペイント ●アクリル樹脂塗料 ●ポリウレタン樹脂塗料 ●塩化ビニル樹脂塗料 ●吹付タイル
 - リシン（セメントリシンは除く） ●弾性リシン ●単層弾性 ●スタッコ（セメントスタッコ、弾性スタッコは除く）
- ※既存塗膜が2液溶剤系フッソ樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は施工できません。

適 用
塗料・塗材
(主な商品名)

- 強力防かび・防藻 エコシリーズ（エコEMアクリルBIO、エコウレタンBIO、エコシリコンBIO、エコフッソBIO）
- 内装用汚染除去性エマルションペイント（AEPモダンSi、AEPモダンBIO）
- 強力防かび・防藻内装用エマルションペイント（水性モルコンBIO）
- 複層仕上塗材（ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ）
- 防水形複層仕上塗材（ラフトン弾性ジャンボシリーズ）
- 外壁用塗膜防水材（ラフトンボースタイル）

標 準
塗装仕様

塗料【希釈剤】	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23℃)
カチオンホワイトBIOシーラー 【清 水】	100 0~5	0.07~0.17	2時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

塗装方法

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

塗装上の
注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。（含水率10%以下、pH10以下）
- 下地のレイタス・エフロレッセンス・汚れなどは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- カチオン系塗料ですので、一般的の水系塗料に使用しただけ・ローラーなどの用具を共用されますと固まりますので避けてください。
- 一般的の水系塗料や市販種ペン等と絶対に混ぜないでください。
- 小分けする際はプラスチック容器をご使用ください。金属容器の場合、サビを生じるおそれがあります。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下地の吸い込みが著しい場合は、2回塗りしてください。
- 気温が5℃以下・湿度が85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- 既存塗膜がターベンなどの弱溶剤で溶解する時、カチオンホワイトBIOシーラー+弱溶剤系の塗装工程は、リフティングを生じる場合がありますので、ご注意ください。
- スプレー式ツヤや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。（ポリサルファイト系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。）
- 施工部位の構造や形状、常時湿気・水分が滞留しやすい壁面や植栽、森林などが隣接するような環境条件では防かび・防藻性が十分に発揮できない場合があります。

水 系

水性アスファルトシーラー

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

特 長

塗料性状

色	白	有 害 物 質	含有しない
乾燥時間(23°C)	2時間	形 態	1液
危険物分類	適用外	容 量	16kg/3kg

適用素地

適 用
塗料・塗材
(主な商品名)

- 各種シート防水(加硫ゴムシート、ゴムアスシート、砂付アスファルトシート、塩ビシートなど)
- 各種塗膜防水(ウレタン塗膜防水、ポリマーセメント系塗膜防水など)
- FRP防水
※カラーゴムシート、タールウレタンへは塗装できません。
※FRP防水層の塗替えの場合は「目粗し、アセトン拭き」を実施しプライマーの付着性を確認してください。

標 準
塗装仕様

- 屋上防水層保護用水性アクリル樹脂上塗材(HPトップPA、HPトップSA、HPトップFSA)
- 屋上防水層保護用水性1液反応硬化形アクリルシリコン樹脂塗料(HPシリコントップP、HPシリコントップFSi)
- 屋上防水層保護用水性2液形ポリウレタン樹脂塗料(アクアウレタントップU)
- 屋上防水層保護用水性1液反応硬化形アクリルシリコン樹脂遮熱塗料(クールトップセラSi、クールトップセラFSA、クールトップセラFSi)
- 屋上防水層保護用水性2液形ポリウレタン樹脂系遮熱塗料(水性ボウスイトップCOOL)

塗 料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23°C)
水性アスファルトシーラー	100	0.12~0.17	3時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
(塩ビシートの場合: 0.12~0.17kg/m²×2回)
(砂付アスファルトシートの場合: 0.20~0.30kg/m²×1回)

塗装方法

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

塗装上の
注意事項

- 「カラーゴムシート」は付着しないため塗装できません。「タールウレタン防水材」はタール成分を抑制できない場合がありますので塗装できません。
- 気温5°C以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 水性アスファルトシーラーはカチオン系ですので、一般塗料と絶対に混ぜないでください。また、一般水系塗料に用いたはけ、ローラーなどの塗装器具を共用されますと固まることがありますので避けてください。
- 使用前に十分攪拌し、均一にしてから塗装してください。
- 塗料を一度に厚塗りすると、ぶくれ、ひび割れが生じることがありますので避けてください。
- 塗膜乾燥過程の初期段階に降雨があった場合、塗膜から界面活性剤が溶出し、雨水が集中する箇所で泡が発生する可能性があります。雨水が河川に流入する恐れがある場合、地域の排水基準に則した管理を行ってください。
- 屋上の雨水がドレンに流れず、直接外壁に流れる構造の場合は、劣化した塗膜粉が外壁を汚染する可能性があるため、防水層上塗材は外壁の色に近い色相もしくは目立ちにくい色相で塗装してください。
- 塗料の取扱い時は、十分に換気を行ってください。
- 各工程の塗装間隔及び最終養生は、所定の時間を厳守してください。
- 仕様の数値は標準値です。下地の状態、施工条件などにより、多少異なることがあります。
- たれ・かすれ・塗り残しなどないよう均一に塗装してください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。

ワイドシーラーEPO

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

特 長

塗料性状

適合下地

適 合
上塗塗料
(主な商品名)標 準
塗装仕様

塗装方法

塗替時の
注意事項塗装上の
注意事項

弱溶剤反応硬化形エポキシ樹脂系シーラー

- エポキシ樹脂を使用することにより、下地に対する抜群の密着性を実現しました。さらに弱溶剤系のため、既存塗膜を侵したり、リフティングさせる心配がなく、塗替用途に最適です。
- 水性シーラーに比べ浸透性が良好であり、けい酸カルシウム板などの脆弱面への密着性に優れています。
- 1液形塗料であり、2液形塗料で問題になる調合ミスや、残塗料の無駄が生じません。
- 弱溶剤形のため、臭気がマイルドであり、ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆☆で環境に優しい塗料です。

色	(淡褐色) 透明	有機溶剤区分	第三種有機溶剤等
乾燥時間(23℃)	1.5時間	容姿	1液性
危険物分類	第四類第二石油類	容量	14kg

- コンクリート
- モルタル
- PCパネル
- スレート
- せっこうボード
- 合板
- 塗替下地（リシン面、吹付タイル面）
- けい酸カルシウム板（密度0.8以上）*
- 押出成形セメント板
- 化粧スレート瓦
- 窯業系サイディングボード
- *乾式耐火被覆板などは塗装できません。
- ALCパネル
- *新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー等を塗り付け、平滑にしてください。

- 合成樹脂エマルジョンペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSI) ■複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
 ■つや有合成樹脂エマルジョンペイント ■防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
 (ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールパリア水性シリーズ) ■厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ)
 ■薄付け仕上塗材(スズカリソン、スズカスキン、スズカジュラク) ■内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)
 ■超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ)
 ■可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ピューレ、セラピューレ)
 ■弱溶剤系塗料(1液ワイドビーズコートシリーズ、ニューモルコンシリーズ、ワイドシリーズ、弾性ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエボーレシリーズ)
- *塗装時、既存塗膜が塗料用シンナーなどの弱溶剤で溶解する場合は、「ワイドシーラーEPO」+弱溶剤系上塗りの工程でチヂミを生じることがありますので、ご注意ください。また、強溶剤系塗料を上塗りに使用することはできません。

塗 料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23℃)
ワイドシーラーEPO	100	0.08~0.17	3時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。吸い込みの少ない活膜などを塗替える場合、塗付量の目安は0.05~0.07kg/m²とし、塗り過ぎに注意してください。粘度調整が必要な場合は、塗料シンナーを用いて希釈してください。

- はけ塗り
- ローラー塗り
- スプレー塗り
- エアレス塗り

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・チヂミ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。
ふくれ・チヂミ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
- また、既存塗膜に溶剤分が残しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。
- 洋風コンクリート瓦（モニエル瓦など）、粘土瓦（いぶし瓦、釉薬瓦など）には、使用しないでください。
- 屋根材の既存塗膜の劣化が著しい場合や素地表面が露出し、ぜい弱な場合は、塗替え塗膜のはく離の原因となる可能性があるため、塗装は避け、屋根材の貼り替えをお奨めします。
- セメント系の屋根材（化粧スレート瓦）で素地への吸い込みが多い箇所は、下塗りを増し塗りしてください。また、下塗りの乾燥後にガムテープで基材表層からの剥がれないかを確認し、剥がれる場合は、表層の剥離層を除去し、下塗りを再塗装してください。
- 化粧スレート瓦などで上下の板の重なり部分にすき間が少ないので、塗装前にスペーサー部材（タスペーザーなど）を挿入し、排水機能を維持してください。塗装後にやむを得ず皮スキなどで縁切りする場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。

- 下地は、十分に乾燥させてください。（含水率10%以下、pH10以下）
- 下地のレイタス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、希釈せずに、そのままご使用ください。
- 下塗料の乾燥が不十分な状態で、上塗料を塗装しますと、上塗料にはじきや付着不良などの不具合を生じる可能性がありますので注意してください。
- 溶剤系塗料と水系塗料が混ざりますと、顕著なはじきを生じます。乾燥不十分な溶剤系塗料が付着したローラーで水系塗料の塗装は避けてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 塗装器具の洗浄は、ラッカーシンナーの方が容易です。
- スプレー式や臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よがれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。（ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。）

ワイド浸透シーラーEPO

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

特 長

塗料性状

適合下地

適 合
上塗塗料
(主な商品名)標 準
塗装仕様

塗装方法

塗替時の
注意事項塗装上の
注意事項

弱溶剤2液反応硬化形高浸透性下地強化透明シーラー

- 1) 壁面、屋根など広範囲の用途に使用できます。
- 2) 高い浸透力と2液形エポキシ樹脂の強力な付着力で、脆弱な下地の強度を高めると共に強固に素材と密着します。
- 3) 弱溶剤タイプなので強溶剤タイプに比べ臭気がマイルドで、既存塗膜のチヂミや溶解が少なく、幅広い旧塗膜に適応します。
- 4) JASS 18 M-201反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー性能相当品です。

色	透明	有機溶剤区分	第二種有機溶剤等
乾燥時間(23°C)	5時間	容姿	2液形
危険物分類	主剤:第四類第二石油類 硬化剤:第四類第二石油類	容量	14kgセット (主剤12.6kg・硬化剤1.4kg)

- 窯業系サイディングボード ● 押出成形セメント板
- コンクリート ● モルタル ● PCパネル ● スレート ● 化粧スレート瓦
- けい酸カルシウム板(密度0.8以上) ● せっこうボード ● 塗替下地(リシン面、吹付タイル面)
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー等を塗り付け、平滑にしてください。

- 合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSi) ■複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
- つや有合成樹脂エマルションペイント ■防水形複層仕上塗材(ラフトン弹性ジャンボシリーズ)
(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールパリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク) ■厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弹性スタッコ)
- 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ) ■内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弹性リシン、ピューレ、セラピューレ)
- 弱溶剤系塗料(1液ワイドビーズコートシリーズ、ニューモルコンシリーズ、ワイドシリーズ、弹性ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエポーレシリーズ)

塗 料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23°C)
ワイド浸透シーラーEPO	100	0.08~0.20	4時間以上 1ヶ月以内

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
吸い込みの少ない活膜などを塗替える場合、塗付量の目安は0.05~0.07kg/m²とし、塗り過ぎに注意してください。
劣化した吸い込みの著しい箇所には2回塗りしてください。

粘度調整が必要な場合は、塗料シンナーを用いて希釈してください。水性塗料を上塗りする場合は、工程間隔を24時間以上7日以内としてください。

- はけ塗り ● ローラー塗り ● スプレー塗り ● エアレス塗り

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・チヂミ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。
ふくれ・チヂミ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。
- 新品同様で劣化の進行していないつや有りの塗膜には、予め試験塗りを行い、付着性を確認してください。
- 洋風コンクリート瓦(モニエル瓦など)、粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦など)には、使用しないでください。
- 屋根材の既存塗膜の劣化が著しい場合や素地表面が露出し、せい弱な場合は、塗替え塗膜のはく離の原因となる可能性があるため、塗装は避け、屋根材の貼り替えをお奨めします。
- セメント系の屋根材(化粧スレート瓦)で素地への吸い込みが多い箇所は、下塗りを増し塗りしてください。また、下塗りの乾燥後にガムテープで基材表層からの剥がれがないかを確認し、剥がれがある場合は、表層の剥離層を除去し、下塗りを再塗装してください。
- 化粧スレート瓦などで上下の板の重なり部分にすき間が少ない場合は、塗装前にスペーサー部材(タスペーザーなど)を挿入し、排水機能を維持してください。塗装後にやむを得ず皮スキなどで縁切りする場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。

- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイスタンス、エプロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 塗装後に結露を生じますと、塗膜がタしたり、シミになりますので、冬期や雨天の塗装には、十分ご注意ください。
- 塗装後のはけ、ローラーなどの用具は早めに洗浄してください。
- ワイド浸透シーラーEPOは2液現場混合タイプです。材料を正しい比率で計量後、十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- たれ、かすれ、塗り残しなどがないように、均一に塗装してください。特に、極細毛タイプのウールローラーを用いて塗装しますと、塗付量が極端に少なくなり、塗り残しを生じがちですのでご注意ください。
- 下塗料の乾燥が不十分な状態で、上塗塗料を塗装しますと、上塗塗料にはじきや付着不良などの不具合を生じる可能性がありますので注意してください。
- 溶剤系塗料と水系塗料が混ざりますと、顕著なはじきを生じます。乾燥不十分な溶剤系塗料が付着したローラーで水系塗料の塗装は避けてください。
- 気温5°C以下、湿度85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- 2液形塗料の場合、硬化反応が100%終了しますと、塗り重ね部分で層間はく離を起こす可能性がありますので、各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- 塗装器具の洗浄には、ラッカーシンナーの方が容易です。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よがれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

弱溶剤系

ワイド浸透シーラーホワイト

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

特 長

塗料性状

適合下地

適 合 上塗塗料 (主な商品名)

標 準 塗装仕様

塗装方法

塗替時の 注意事項

塗装上の 注意事項

弱溶剤2液反応硬化形高浸透性下地強化ホワイトシーラー

- 1) コンクリート、モルタル、窯業系サイディングボードなどの無機質素材はもちろん、金属系サイディングボードなどの金属部やFRP樹脂面など幅広い素地に対応可能です。
- 2) 壁面、屋根など広範囲の用途に使用できます。
- 3) 高い浸透力と2液形エポキシ樹脂の強力な付着力で、脆弱な下地の強度を高めると共に強固に素材と密着します。
- 4) 強力な防食効果を有していますので、付帯部などの金属面も同一材料で安心して塗装することが可能です。
- 5) JASS 18 M-201反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー・JASS 18 M-109変性エポキシ樹脂プライマー及び弱溶剤系エポキシ樹脂プライマー性能相当品です。

色	白	有機溶剤区分	第二種有機溶剤等
乾燥時間(23°C)	12時間	容姿	2液形
危険物分類	主剤:第四類第二石油類 硬化剤:第四類第二石油類	容量	16kgセット (主剤14.4kg・硬化剤1.6kg)

- 窯業系サイディングボード ● 押出成形セメント板 ● コンクリート ● モルタル ● PCパネル ● スレート ● 化粧スレート瓦
- けい酸カルシウム板(密度0.8以上) ● せっこうボード ● 鉄鋼 ● 鋼板 ● 亜鉛鉄板 ● ステンレス鋼板
- アルミニウム板 ● 着色亜鉛鉄板 ● どぶ浸け溶融亜鉛めっき鋼材 ● 塗替下地(リシン面、吹付タイル面)
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー等を塗り付け、平滑にしてください。

注1) どぶ浸け溶融亜鉛めっき鋼材は、1ヶ月以上ばく露し、素材表面をディスクサンダー(研磨紙P120~240)にて入念に研磨し、白さびを除去してください。つやは残っている場合は塗装を避けてください。

注2) 塩化ビニル被覆鋼板は不適

- | | |
|--|------------------------------------|
| ■合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSI) | ■複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ) |
| ■つや有合成樹脂エマルションペイント
(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールパリア水性シリーズ) | ■防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ) |
| ■薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク) | ■厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ) |
| ■超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ) | ■内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ) |
| ■可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ビューレ、セラビューレ) | |
| ■弱溶剤系塗料(1液ワイドペイントシリーズ、ニューモルコンシリーズ、ワイドシリーズ、弾性ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエボーレシリーズ) | |

塗料【希釈剤】	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23°C)
ワイド浸透シーラーホワイト 【塗料用シンナー】	100 10~20	0.08~0.20	8時間以上 1ヶ月以内

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
劣化した吸い込みの著しい箇所には2回塗りしてください。

希釈率はセメント系素地の場合10~20%、さび止め効果が必要な金属素地の場合は0~5%、FRP素地の場合は0~5%です。

水性塗料を上塗りする場合は、工程間隔を24時間以上7日以内としてください。

さび止め効果を期待する場合、素地の凹凸部分で膜厚が薄くならないように増し塗りしてください。

- はけ塗り ● ローラー塗り ● スプレー塗り ● エアレス塗り

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・チヂミ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。
ふくれ・チヂミ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
- 既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。
- 新品同様で劣化の進行していないつや有りの塗膜には、予め試験塗りを行い、付着性を確認してください。
- 洋風コンクリート瓦(モニエル瓦など)、粘土瓦(いぶし瓦、釉葉瓦など)には、使用しないでください。
- 屋根材の既存塗膜の劣化が著しい場合や素地表面が露出し、ぜい弱な場合は、塗替え塗膜のはく離の原因となる可能性があるため、塗装は避け、屋根材の貼り替えをお奨めします。
- セメント系の屋根材(化粧スレート瓦)で素地への吸い込みが多い箇所は、下塗りを増し塗りしてください。また、下塗りの乾燥後にガムテープで基材表層からの剥がれがないかを確認し、剥がれがある場合は、表層の剥離層を除去し、下塗りを再塗装してください。
- 化粧スレート瓦などで上下の板の重なり部分にすき間が少ないと、塗装前にスペーサー部材(タスペーザーなど)を挿入し、排水機能を維持してください。塗装後にやむを得ず皮スキなどで縁切りする場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。

- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイスタンス、エプロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 塗装後に結露を生じますと、塗膜がタレたり、シミになりますので、冬期や雨天の塗装には、十分ご注意ください。
- 塗装後のはけ、ローラーなどの用具は早めに洗浄してください。
- ワイド浸透シーラーホワイトは2液現場混合タイプです。材料を正しい比率で計量後、十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- たれ、かすれ、塗り残しなどがないように、均一に塗装してください。特に、極細毛タイプのウールローラーを用いて塗装しますと、塗付量が極端に少なくなり、塗り残しを生じがちですのでご注意ください。
- 下塗料の乾燥が不十分な状態で、上塗塗料を塗装しますと、上塗料にはじきや付着不良などの不具合を生じる可能性がありますので注意してください。
- 溶剤系塗料と水系塗料が混ざりますと、顕著なはじきを生じます。乾燥不十分な溶剤系塗料が付着したローラーで水系塗料の塗装は避けてください。
- 気温5°C以下、湿度85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- 2液形塗料の場合、硬化反応が100%終了しますと、塗り重ね部分で層間はく離を起こす可能性がありますので、各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- 塗装器具の洗浄には、ラッカーシンナーの方が容易です。
- スプレー式や臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化工不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よがれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化工していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

ワイド浸透シーラーブラック

ホルムアルデヒド放散等級



内装仕上げの制限なし

系統

特長

塗料性状

適合下地

適合上塗塗料
(主な商品名)

標準塗装仕様

塗装方法

塗替時の注意事項

塗装上の注意事項

- 弱溶剤2液反応硬化形高浸透性下地強化ブラックシーラー
- コンクリート、モルタル、窯業系サイディングボードなどの無機質素材はもちろん、金属系サイディングボードなどの金属部やFRP樹脂面など幅広い素地に対応可能です。
 - 壁面、屋根など広範囲の用途に使用できます。
 - FRP製貯水槽の外面用下塗として使用することで、太陽光を遮蔽し藻の発生を抑制します。
※光透過率(%) FRP素材: 0.4% ワイド浸透シーラーブラック×各種上塗: 0.01以下(光透過率が0.01%以下から藻の発生は見られません。)
 - 高い浸透力と2液形エポキシ樹脂の強力な付着力で、脆弱な下地の強度を高めると共に強固に素材と密着します。
 - 強力な防食効果を有していますので、付帯部などの金属面も同一材料で安心して塗装することが可能です。
 - JASS 18 M-109変性エポキシ樹脂プライマー及び弱溶剤系エポキシ樹脂プライマー性能相当品です。

色	黒	有機溶剤区分	第二種有機溶剤等
乾燥時間(23°C)	12時間	容姿	2液形
危険物分類	主剤: 第四類第二石油類 硬化剤: 第四類第二石油類	容量	16kgセット (主剤14.4kg・硬化剤1.6kg)

- 窯業系サイディングボード
 - コンクリート
 - モルタル
 - PCパネル
 - スレート
 - 化粧スレート瓦
 - けい酸カルシウム板(密度0.8以上)
 - せっこうボード
 - 鉄鋼
 - 鋼板
 - 亜鉛鉄板
 - ステンレス鋼板
 - アルミニウム板
 - 着色亜鉛鉄板
 - どぶ浸け溶融亜鉛めっき鋼材
 - 塗替下地(リシン面、吹付タイル面)
 - ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー等を塗り付け、平滑にしてください。
- 注1) どぶ浸け溶融亜鉛めっき鋼材は、1ヶ月以上ばく露し、素材表面をディスクサンダー(研磨紙P120~240)にて入念に研磨し、白さびを除去してください。つやが残っている場合は塗装を避けてください。
- 注2) 塩化ビニル被覆鋼板は不適

- 合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSi)
- つや有合成樹脂エマルションペイント
- (ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールパリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弹性リシン、ビューレ、セラピューレ)
- 弱溶剤系塗料(1液ワイドビーズコートシリーズ、ニューモルコンシリーズ、ワイドシリーズ、弹性ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドボーラーシリーズ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弹性ジャンボシリーズ)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弹性スタッコ)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)
- 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ)

塗料【希釈剤】	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23°C)
ワイド浸透シーラーブラック 【塗料用シンナー】	100 10~20	0.08~0.20	8時間以上 1ヶ月以内

- 塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
劣化した吸い込みの著しい箇所には2回塗りしてください。
希釈率はセメント系素地の場合10~20%、さび止め効果が必要な金属素地の場合は0~5%、FRP素地の場合は0~5%です。
水性塗料を上塗りする場合は、工程間隔を24時間以上7日以内としてください。
さび止め効果を期待する場合、素地の凹凸部分で膜厚が薄くならないように増し塗りしてください。

- はけ塗り
- ローラー塗り
- スプレー塗り
- エアレス塗り

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・チヂミ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。
ふくれ・チヂミ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。
- 新品同様で劣化の進行していないつや有りの塗膜には、予め試験塗りを行い、付着性を確認してください。
- 洋風コンクリート瓦(モニエル瓦など)、粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦など)には、使用しないでください。
- 屋根材の既存塗膜の劣化が著しい場合や素地表面が露出し、せい弱な場合は、塗替え塗膜のはく離の原因となる可能性があるため、塗装は避け、屋根材の貼り替えをお勧めします。
- セメント系の屋根材(化粧スレート瓦)で素地への吸い込みが多い箇所は、下塗りを増し塗りしてください。また、下塗りの乾燥後にガムテープで基材表層からの剥がれがないかを確認し、剥がれがある場合は、表層の剥離層を除去し、下塗りを再塗装してください。
- 化粧スレート瓦などで上下の板の重なり部分にすき間が少ない場合は、塗装前にスペーサー部材(タスペーザーなど)を挿入し、排水機能を維持してください。塗装後にやむを得ず皮スキなどで縁切りする場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。
- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイスタンス、エプロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 塗装後に結露を生じますと、塗膜がタレたり、シミになりますので、冬期や雨天の塗装には、十分ご注意ください。
- 塗装後のはけ、ローラーなどの用具は早めに洗浄してください。
- ワイド浸透シーラーブラックは2液現場混合タイプです。材料を正しい比率で計量後、十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- たれ、かすれ、塗り残しなどがないように、均一に塗装してください。特に、極細毛タイプのウールローラーを用いて塗装しますと、塗付量が極端に少なくなり、塗り残しを生じがちですのでご注意ください。
- 下塗塗料の乾燥が不十分な状態で、上塗塗料を塗装しますと、上塗塗料にはじきや付着不良などの不具合を生じる可能性がありますので注意してください。
- 溶剤系塗料と水系塗料が混ざりますと、顕著なはじきを生じます。乾燥不十分な溶剤系塗料が付着したローラーで水系塗料の塗装は避けてください。
- 気温5°C以下、湿度85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- 2液形塗料の場合、硬化反応が100%終了しますと、塗り重ね部分で層間はく離を起こす可能性がありますので、各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- 塗装器具の洗浄には、ラッカーシンナーの方が容易です。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よこれを作生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

系 統

特 長

塗料性状

適合下地

適 合
上塗塗料
(主な商品名)標 準
塗装仕様

塗装方法

塗替時の
注意事項塗装上の
注意事項

- 弱溶剤2液高浸透高密着形特殊エポキシ変性有機・無機ハイブリッドシーラー**
- 1) 有機・無機ハイブリッド架橋システムにより、特殊コーティングされた窯業系サイディングボードや下地の種類を選ばずに塗装可能です。さらに弱溶剤系のため、既存塗膜を侵したり、リフティングさせる心配がなく、塗替え用途に最適です。
 - 2) 浸透性に優れ、劣化層・せい弱層を補強し、上塗りの仕上がりも良好です。
 - 3) 耐水性、耐アルカリ性に優れ、仕上材の性能向上に役立ちます。
 - 4) JASS 18 M-201 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー性能相当品です。

色	透明	有機溶剤区分	第三種有機溶剤等
乾燥時間(23°C)	3時間	容姿	2液形
危険物分類	主剤:第四類第二石油類 硬化剤:第四類第二石油類	容量	15kgセット (主剤13kg・硬化剤2kg)

- 窯業系サイディングボード (光触媒コーティング、無機系コーティング等も含む。)
- 押出成形セメント板
- コンクリート ● モルタル ● PCパネル ● スレート
- けい酸カルシウム板 (密度0.8以上)
- せっこうボード ● 塗替下地 (リシン面、吹付タイル面)
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー等を塗り付け、平滑にしてください。

- 合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSi)
- 複層仕上塗材(ラフトンジアンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
- つや有合成樹脂エマルションペイント
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジアンボシリーズ)
- (ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールパリア水性シリーズ)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)
- 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ピューレ、セラピューレ)
- 弱溶剤系塗料(1液ワイドビーズコートシリーズ、ニューモルコンシリーズ、ワイドシリーズ、弾性ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエボーレシリーズ)

塗 料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ²)	塗装間隔(23°C)
WBグリップシーラーEPO	100	0.08~0.18 (1~2回)	4時間以上 7日以内

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。吸い込みの少ない活膜などを塗替える場合、塗付量の目安は0.05~0.07kg/m²とし、塗り過ぎに注意してください。また、塗装間隔目安よりも乾燥に時間を要する場合がありますので注意してください。
下地の吸い込みが著しい場合は2回塗り、工程内での塗装間隔は3時間以上

- はけ塗り ● ローラー塗り ● スプレー塗り ● エアレス塗り

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・チヂミ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。
ふくれ・チヂミ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。
- 新品同様で劣化の進行していないつや有りの塗膜には、予め試験塗りを行い、付着性を確認してください。

- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイスタンス、エプロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 塗装後に結露を生じますと、塗膜がタレたり、シミになりますので、冬期や雨天の塗装には、十分ご注意ください。
- 塗装後のはけ、ローラーなどの用具は早めに洗浄してください。
- WBグリップシーラーEPOは2液現場混合タイプです。材料を正しい比率で計量後、十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- 本品の硬化剤は、空気中の湿気と反応して固まりますので、開封後は速やかに使用してください。
- WBグリップシーラーEPOを希釈しますと、付着不良による不具合が起きる危険がありますので、必ず無希釈でご使用ください。
- たれ、かすれ、塗り残しなどがないように、均一に塗装してください。特に被塗物の凹凸が大きく、吸い込みが少ない場合には、極細毛タイプのウォールローラーを用いるなどして、凹部に塗料が溜まらないように注意してください。
- 下塗料の乾燥が不十分な状態で、上塗塗料を塗装しますと、上塗塗料にはじきや付着不良などの不具合を生じる可能性がありますので注意してください。
- 溶剤系塗料と水系塗料が混ざりますと、顕著なはじきを生じます。乾燥不十分な溶剤系塗料が付着したローラーで水系塗料の塗装は避けてください。
- 気温5°C以下、湿度85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- 2液形塗料の場合、硬化反応が100%終了しますと、塗り重ね部分で層間はく離を起こす可能性がありますので、各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- 塗装器具の洗浄には、ラッカーシンナーの方が容易です。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よこれを作生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイト系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

系 統

特 長

塗料性状

適合下地

適 合
上塗塗料
(主な商品名)標 準
塗装仕様

塗装方法

塗替時の
注意事項塗装上の
注意事項

〈強力防かび・防藻〉弱溶剤反応硬化形エポキシ樹脂系シーラー

- 1) 環境に配慮した安全性に優れたバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。
- 2) エポキシ樹脂を使用することにより、下地に対する抜群の密着性を実現しました。さらに弱溶剤系のため、既存塗膜を侵したり、リフティングさせる心配がなく、塗替用途に最適です。
- 3) 水性シーラーに比べ浸透性が良好であり、けい酸カルシウム板などの脆弱面への固着性に優れています。
- 4) 弱溶剤形のため、臭気がマイルドであり、ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆☆で環境に優しい塗料です。

色	(淡褐色) 透明	有機溶剤区分	第三種有機溶剤等
乾燥時間(23℃)	1.5時間	容姿	1液性
危険物分類	第四類第二石油類	容量	14kg

- コンクリート ●モルタル ●PCパネル ●スレート
- せっこうボード ●合板 ●塗替下地（リシン面、吹付タイル面）
- けい酸カルシウム板（密度0.8以上）* ●押出成形セメント板 ●化粧スレート瓦
- 窯業系サイディングボード *乾式耐火被覆板などは塗装できません。
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー等を塗り付け、平滑にしてください。

- 合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSI) ■複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
 - つや有合成樹脂エマルションペイント ■防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォール/パリア水性シリーズ)
 - 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク) ■厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ)
 - 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビースコートシリーズ)
 - 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ピューレ、セラピューレ)
 - 弱溶剤系塗料(1液ワイドビーズコートシリーズ、ニューモルコンシリーズ、ワイドシリーズ、弾性ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエポーラーシリーズ)
- ※塗装時、既存塗膜が塗料用シンナーなどの弱溶剤で溶解する場合は、「ワイドシーラーBIO」+弱溶剤系上塗りの工程でチヂミを生じることがありますので、ご注意ください。また、強溶剤系塗料を上塗りに使用することはできません。

塗 料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23℃)
ワイドシーラーBIO	100	0.08~0.17	3時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。吸い込みの少ない活膜などを塗替える場合、塗付量の目安は0.05~0.07kg/m²とし、塗り過ぎに注意してください。粘度調整が必要な場合は、塗料シンナーを用いて希釈してください。

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・チヂミ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。ふくれ・チヂミ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
- また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがあるので、十分に乾燥後上塗りしてください。

- 下地は、十分に乾燥させてください。（含水率10%以下、pH10以下）
- 下地のレイタス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、希釈せずに、そのままご使用ください。
- 下塗塗料の乾燥が不十分な状態で、上塗塗料を塗装しますと、上塗塗料にはじきや付着不良などの不具合を生じる可能性がありますので注意してください。
- 溶剤系塗料と水系塗料が混ざりますと、顕著なはじきを生じます。乾燥不十分な溶剤系塗料が付着したローラーで水系塗料の塗装は避けてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上の気象条件下での塗装は、避けてください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 塗装器具の洗浄は、ラッカーサイナーの方が容易です。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よがれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。（ボリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。）
- 施工部位の構造や形状、常時湿気・水分が滞留しやすい壁面や植栽、森林などが隣接するような環境条件では防かび・防藻性が十分に発揮できない場合があります。

ピナクルシーラー

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

特 長

塗料性状

適合下地

適 合
上塗塗料
(主な商品名)標 準
塗装仕様

塗装方法

塗替時の
注意事項塗装上の
注意事項

自己架橋形合成樹脂シーラー

- 1) 架橋構造による強じんな塗膜は下地固着性・付着性・耐溶剤性に優れています。
- 2) 吸水性・透水性が小さく、アルカリ、エフロレッセンス、アクなどのシール性に優れています。
- 3) 下地への浸透性・各種仕上塗材との付着性に優れています。
- 4) 希釈不要の既調合タイプです。
- 5) 弹性塗材の下塗材にも最適で、幅広く使用できます。

色	透明	有機溶剤区分	第二種有機溶剤等
乾燥時間(23°C)	1時間	容姿	1液性
危険物分類	第四類第一石油類	容量	14kg

- コンクリート ●モルタル ●PCパネル ●スレート ●せっこうボード ●合板
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー等を塗り付け、平滑にしてください。
- 塗替下地（リシン面、吹付タイル面）

- 合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSi)
- つや有合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールバリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ビューレ、セラビューレ)
- 弱溶剤系塗料
 - (1液ワイドビーズコートシリーズ、ニューモルコンシリーズ、ワイドシリーズ、弾性ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエボーレシリーズ)
 - 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
 - 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
 - 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ)
 - 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)

塗 料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23°C)
ピナクルシーラー	100	0.10~0.17	※ 1時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
下地の吸い込みが著しい場合は2回塗り、工程内での塗装間隔は1時間以上

※上塗りに、防水形及び可とう形仕上塗材を使用する場合には、塗装間隔を3時間以上取ってください。

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・チヂミ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。
ふくれ・チヂミ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

- 下地は、十分に乾燥させてください。（含水率10%以下、pH10以下）
- 下地のレイタス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、希釈せずに、そのままご使用ください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下塗塗料の乾燥が不十分な状態で、上塗塗料を塗装しますと、上塗塗料にはじきや付着不良などの不具合を生じる可能性がありますので注意してください。
- 溶剤系塗料と水系塗料が混ざりますと、顕著なはじきを生じます。乾燥不十分な溶剤系塗料が付着したローラーで水系塗料の塗装は避けてください。
- 高温時などの塗装で、糸引きが生じましたら、スズカシンナー#1000を5%以内で希釈し、ご使用ください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー#1000をご使用ください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よがれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。（ポリサルファイト系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。）

ピナクルホワイト

ホルムアルデヒド放散等級



内装仕上げの制限なし

系 統

特 長

塗料性状

適合下地

適 合
上塗塗料
(主な商品名)標 準
塗装仕様

塗装方法

塗替時の
注意事項塗装上の
注意事項

自己架橋形合成樹脂シーラー

- 1) 架橋構造による強じんな塗膜は、下地固着性・付着性・耐溶剤性に優れています。
- 2) 吸い込み止め効果、耐アルカリ性に優れています。
- 3) 各種主材・上塗材とよく付着します。
- 4) かくはんして直ぐに塗装でき、乾燥が速いです。
- 5) 白色ですから、上塗りのとまりに寄与します。
- 6) 弹性塗材の下塗材にも最適で、幅広く使用できます。

色	白	有機溶剤区分	第二種有機溶剤等
乾燥時間(23°C)	1時間	容姿	1液性
危険物分類	第四類第一石油類	容量	14kg

- コンクリート ●モルタル ●PCパネル ●スレート ●せっこうボード ●合板
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー等を塗り付け、平滑にしてください。
- 塗替下地（リシン面、吹付タイル面）

- 合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSi)
- つや有合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールバリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ビューレ、セラビューレ)
- 弱溶剤系塗料
 - (1液ワイドビースコートシリーズ、ニューモルコンシリーズ、ワイドシリーズ、弾性ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエポーレシリーズ)
 - 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
 - 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
 - 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ)
 - 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)

塗 料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23°C)
ピナクルホワイト	100	0.10~0.17	※ 1時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

下地の吸い込みが著しい場合は2回塗り、工程内での塗装間隔は1時間以上

※上塗りに、防水形及び可とう形仕上塗材を使用する場合には、塗装間隔を3時間以上取ってください。

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・チヂミ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。
ふくれ・チヂミ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

- 下地は、十分に乾燥させてください。（含水率10%以下、pH10以下）
- 下地のレイタス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、希釈せずに、そのままご使用ください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下塗塗料の乾燥が不十分な状態で、上塗塗料を塗装しますと、上塗塗料にはじきや付着不良などの不具合を生じる可能性がありますので注意してください。
- 溶剤系塗料と水系塗料が混ざりますと、顕著なはじきを生じます。乾燥不十分な溶剤系塗料が付着したローラーで水系塗料の塗装は避けてください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー#1000をご使用ください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、よこれを作生じることがあるため行わないでください。
やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。（ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。）

溶剤系

ラフトンエポキシシーラー

ホルムアルデヒド放散等級



内装仕上げの制限なし

系 統

特 長

- 1) エポキシ樹脂の架橋タイプですので浸透固着性・付着性・耐溶剤に抜群の効果を発揮します。
- 2) 速乾性で各種の仕上塗材との付着性に優れています。
- 3) けい酸カルシウム板にも適します。
- 4) 1液形です。2液形のような調合の手間がいらず、均質な性能が得られます。
- 5) 弹性塗材の下塗材にも最適で、下地及び上塗材の適合幅が広範囲です。

塗料性状

色	透明	有機溶剤区分	第二種有機溶剤等
乾燥時間(23°C)	1時間	姿	1液性
危険物分類	第四類第一石油類	量	15kg

適合下地

- コンクリート ●モルタル ●PCパネル ●スレート ●合板
- けい酸カルシウム板 ●せっこうボード
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー等を塗り付け、平滑にしてください。
- 押出成形セメント板 (スズカシンナー#33で倍希釈 (塗料:希釈剤=1:1) してご使用ください。)

適 合 上塗塗料 (主な商品名)

- 合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSi)
- つや有合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールバリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ビューレ、セラビューレ)
- 弱溶剤系塗料
 - (1液ワイビーズコートシリーズ、ニューモルコンシリーズ、ワイドシリーズ、弾性ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエボーレシリーズ)
 - 2液形ポリウレタン樹脂塗料(ラフトンウレタンエナメル)
 - 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
 - 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
 - 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ)
 - 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)

標準塗装仕様

塗 料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23°C)
ラフトンエポキシシーラー	100	0.10~0.17	※ 1時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

下地の吸い込みが著しい場合は2回塗り、工程内の塗装間隔は1時間以上

※上塗りに、防水形及び可とう形仕上塗材を使用する場合には、塗装間隔を3時間以上取ってください。

※※上塗りに、ラフトンウレタンエナメルを使用する場合は、5時間以上取ってください。

塗装方法

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

塗替時の注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・チヂミ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。
ふくれ・チヂミ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

塗装上の注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタス、エフロレッセンス、汚れなどを除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、希釈せずに、そのままご使用ください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下塗塗料の乾燥が不十分な状態で、上塗塗料を塗装しますと、上塗塗料にはじきや付着不良などの不具合を生じる可能性がありますので注意してください。
- 溶剤系塗料と水系塗料が混ざりますと、顕著なはじきを生じます。乾燥不十分な溶剤系塗料が付着したローラーで水系塗料の塗装は避けてください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー#33をご使用ください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、よこれを作ることがあるため行わないでください。
やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイト系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

クリヤーシーラーEPO

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

特 長

塗料性状

適合下地

適 合
上塗塗料
(主な商品名)標準
塗装仕様

塗装方法

塗替時の
注意事項塗装上の
注意事項

2液反応硬化形エポキシ樹脂系シーラー

- 1) 浸透性に優れ、表面層がぜい弱な素材の強度を高めます。
- 2) 上塗りとの密着性に優れ、上塗り塗料の選択幅が広がります。
- 3) 耐水性、耐アルカリ性に優れ、仕上材の性能向上に役立ちます。
- 4) 吸い込み防止に優れ、上塗りの仕上げを向上させます。
- 5) JASS18 M-201 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー性能相当品です。

色	透明	有機溶剤区分	第二種有機溶剤等
乾燥時間(23°C)	1時間	姿	2液形
危険物分類	主剤:第四類第一石油類 硬化剤:第四類第一石油類	容	15kgセット (主剤12kg・硬化剤3kg) 5kgセット (主剤4kg・硬化剤1kg)

- コンクリート ●モルタル ●PC部材 ●スレート ●けい酸カルシウム板
- せっこうボード ●押出成形セメント板 ●窯業系サイディングボード
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー等を塗り付け、平滑にしてください。

- 合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSi)
- つや有合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールバリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ビューレ、セラビューレ)
- 弱溶剤系塗料
 - (1液ワイドビーズコートシリーズ、ニューモルコンシリーズ、ワイドシリーズ、弾性ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエポーレシリーズ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)

塗料【希釀剤】	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ²)	塗装間隔(23°C)
クリヤーシーラーEPO [スズカシンナー#33]	100 0~10	0.08~0.18 (1~2回)	16時間以上 7日以内

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
下地の吸い込みが著しい場合は2回塗り、工程内での塗装間隔は1時間以上

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・チヂミ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。
ふくれ・チヂミ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- クリヤーシーラーEPOは2液現場混合タイプです。材料を正しい比率で計量後、十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- シーラーのうすめすぎは、下地の強化能力が低下しますので標準希釀幅内で使用してください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下塗塗料の乾燥が不十分な状態で、上塗塗料を塗装しますと、上塗塗料にはじきや付着不良などの不具合を生じる可能性がありますので注意してください。
- 溶剤系塗料と水系塗料が混ざりますと、顕著なはじきを生じます。乾燥不十分な溶剤系塗料が付着したローラーで水系塗料の塗装は避けてください。
- 2液形塗料の場合、硬化反応が100%終了しますと、塗り重ね部分で層間はく離を起こす可能性がありますので、各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、住居者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチル系シーリング材へは、塗装をさせてください。)

ホワイトシーラーEPO

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

特 長

2液反応硬化形エポキシ樹脂系シーラー

- 1) 浸透性に優れ、表面層がぜい弱な素材の強度を高めます。
- 2) 上塗りとの密着性に優れ、上塗り塗料の選択幅が広がります。
- 3) 耐水性、耐アルカリ性に優れ、仕上材の性能向上に役立ちます。
- 4) 吸い込み防止に優れ、上塗りの仕上げを向上させます。
- 5) JASS18 M-201 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー性能相当品です。

塗料性状

色	白
乾燥時間(23°C)	1時間
危険物分類	主剤:第四類第一石油類 硬化剤:第四類第一石油類

有機溶剤区分	第二種有機溶剤等
容姿	2液形
容量	15kgセット (主剤12kg・硬化剤3kg) 5kgセット (主剤4kg・硬化剤1kg)

適合下地

- コンクリート ●モルタル ●PC部材 ●スレート ●けい酸カルシウム板
- せっこうボード ●押出成形セメント板 ●窯業系サイディングボード
- ALCパネル※新設ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラー等を塗り付け、平滑にしてください。

適合
上塗塗料
(主な商品名)

- 合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSi)
- つや有合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールバリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ビューレ、セラビューレ)
- 弱溶剤系塗料
 - (1液ワイドビーズコートシリーズ、ニューモルコンシリーズ、ワイドシリーズ、弾性ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエポーレシリーズ)
 - 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
 - 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
 - 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ)
 - 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)

標準
塗装仕様

塗料【希釈剤】	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23°C)
ホワイトシーラーEPO [スズカシンナー#33]	100 5~25	0.08~0.18	16時間以上 7日以内

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
下地の吸い込みが著しい場合は2回塗り、工程内での塗装間隔は1時間以上

塗装方法

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

塗替時の
注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・チヂミ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。
ふくれ・チヂミ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

塗装上の
注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- ホワイトシーラーEPOは2液現場混合タイプです。材料を正しい比率で計量後、十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- シーラーのうすめすぎは、下地の強化能力が低下しますので標準希釈幅内で使用してください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどないよう均一に塗装してください。
- 下塗塗料の乾燥が不十分な状態で、上塗塗料を塗装しますと、上塗塗料にはじきや付着不良などの不具合を生じる可能性がありますので注意してください。
- 溶剤系塗料と水系塗料が混ざりますと、顕著なはじきを生じます。乾燥不十分な溶剤系塗料が付着したローラーで水系塗料の塗装は避けてください。
- 2液形塗料の場合、硬化反応が100%終了しますと、塗り重ね部分で層間はく離を起こす可能性がありますので、各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- スプレー式や臭い・蒸気などが、住居者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチル系シーリング材へは、塗装をさせてください。)

溶剤系

アスファルトシーラー

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

湿気硬化形ウレタン樹脂系プライマー

特 長

- 1) 湿気硬化により強靭な塗膜が得られ、下地からのブリード防止効果が良好です。
- 2) 各種上塗り材との付着性に優れます。
- 3) 1液形ですので2液形のような調合の手間がいらず、均質な性能が得られます。

塗料性状

色	透明	有機溶剤区分	第二種有機溶剤等
乾燥時間(23℃)	2時間	容姿	1液性
危険物分類	第四類第一石油類	容量	16kg/3kg

適合下地

- コンクリート ●モルタル ●スレート ●ゴムアスシート
- 砂付きアスファルトシート ●ウレタン防水 ●ポリマーセメント系塗膜防水

適 合 上塗塗料 (主な商品名)

- 防水材用保護仕上塗材(HPトップNEWシリーズ、ウォーターバリアシリーズ)
- 歩道用水性高反射率塗料(クールトップホドウ)
- 水性高反射率塗料(クールトップスーパーシリーズ)
- 機能性下地調整塗材(レベモルシリーズ)

標 準 塗装仕様

塗 料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23℃)
アスファルトシーラー	100	0.10~0.20	2時間以上 24時間以内

塗装間隔は、アスファルトシーラーの表面粘着がなくなるのを目安としてください。
塗付量は下地の状況により大きく変動する場合があります。

塗装方法

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

塗替時の 注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・チヂミ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。
ふくれ・チヂミ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

塗装上の 注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- アスファルトシーラーは溶剤系ですので、火気に十分注意してください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー#2000をご使用ください。
- 塗装中、及び塗装後6時間以内に降雨、積雪、結露等が予想される場合は、施工を見合わせてください。
- スプレー Mist や臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- 使用前に十分かくはんし、そのまま塗装してください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- タールウレタン防水材の場合、アスファルトシーラーでも、ブリードを生じることがありますので、塗装を避けてください。

ワンダープライマー

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

系 統

1液形多用途高密着プライマー

特 長

- 1) 特殊変性樹脂が、陶磁器質タイル・各種プラスチック・金属など幅広い下地に対して抜群の密着性を発揮します。
- 2) 劣化層・ぜい弱層に浸透し、下地を補強します。
- 3) 速乾性で各種上塗塗料や仕上塗材との密着性に優れます。
- 4) 1液形ですので、2液形のような調合の手間がいらず均質な性能が得られます。
- 5) 弹性塗材の下塗材にも最適で、幅広く使用できます。

塗料性状

色	透明	有機溶剤区分	第二種有機溶剤等
乾燥時間(23°C)	1時間	容姿	1液性
危険物分類	第四類第一石油類	容量	14kg・3.5kg

適合下地

無機質系	コンクリート・モルタル ※1	<input checked="" type="radio"/>	屋根材 ※10	釉薬瓦	<input checked="" type="radio"/>
	特殊サイディングボード (光触媒・無機系・ふつ素樹脂系) ※2	<input checked="" type="radio"/>		素焼瓦	<input checked="" type="radio"/>
	けい酸カルシウム板	<input checked="" type="radio"/>		洋風コンクリート瓦(モニエル瓦)	<input checked="" type="radio"/>
	ホーロー鋼板	<input checked="" type="radio"/>		いぶし瓦	<input checked="" type="radio"/>
	陶器質タイル ※3 ※4 ※5	<input checked="" type="radio"/>		スレート化粧瓦	<input checked="" type="radio"/>
	磁器質タイル ※3 ※4 ※5	<input checked="" type="radio"/>		セメント瓦	<input checked="" type="radio"/>
	ガラス板 ※6	<input checked="" type="radio"/>		ステンレス(SUS304)	<input checked="" type="radio"/>
	アクリル板	<input checked="" type="radio"/>		ガルバリウム鋼板	<input checked="" type="radio"/>
	硬質塩ビ	<input checked="" type="radio"/>		ポンデ鋼板	<input checked="" type="radio"/>
	FRP(成型品) ※8	<input checked="" type="radio"/>		アルミニウム	<input checked="" type="radio"/>
プラスチック系 ※7	ポリカーボネート ※9	<input checked="" type="radio"/>		電気亜鉛めっき	<input checked="" type="radio"/>
	ABS ※9	<input checked="" type="radio"/>		溶融亜鉛めっき	<input checked="" type="radio"/>
	ベークライト	<input checked="" type="radio"/>		クロムめっき	<input checked="" type="radio"/>
	ポリエチレンテレフタレート(PET)	<input checked="" type="radio"/>		銅板(屋根材を除く)	<input checked="" type="radio"/>
	ポリエチレン(PE)	<input checked="" type="radio"/>		トタン	<input checked="" type="radio"/>
	ポリプロピレン(PP)	<input checked="" type="radio"/>		ブリキ	<input checked="" type="radio"/>
	デコラ板	<input checked="" type="radio"/>		軟鋼板	<input checked="" type="radio"/>
	メラミン化粧板	<input checked="" type="radio"/>		塩ビ被覆鋼板	<input checked="" type="radio"/>

※1: 吸い込みの激しい下地の場合は2回以上、吸い込みがなくなるまで塗装してください。

※2: 光触媒、無機系、ふつ素樹脂塗料などが施された特殊サイディングボードへの塗装は避けてください。特殊サイディングボードへ塗装する場合は、WBグリップシーラーEPOをご使用ください。

※3: 過剰に吸い込みの激しいタイル(一部のレンガタイル等)への塗装は避けてください。塗装に先立ち塗装可否の判定試験を行ってください。基材に油性マジックで書いた文字が、溶剤を含ませたウエスで簡単に拭き取れる場合は塗装可能です。(判定試験は基材表面の撥水剤や汚れを十分に除去した上で行ってください。)

※4: ラスター台面、グラファイトを施した、いぶし台面には適用できませんので塗装しないでください。

※5: タイル表面に目地材が付着していると、基材と目地材の層間で剥離を生じる可能性がありますので、洗浄やマジックロープ等を用いて除去した上で塗装してください。

※6: 窓枠等にシリコーン系シーリング材が使用されている場合、ガラス板表面にシーリング材由来の汚染物が付着している可能性がありますので、洗浄、溶剤拭きを行うなどして十分に除去した上で塗装を行ってください。

※7: プラスチック系下地は、溶剤により溶解や膨潤をしやすく、特にカーボート屋根等、ひずみが生じているような負荷のかかった部位では、ひび割れを生じる可能性がありますので、十分に試験を行った上でご使用ください。

※8: FRPは、目粗しを行い、付着性を確認の上、ご使用ください。また、塗装表面に基材の毛羽立ちが残ると、膨れを生じる可能性がありますので、ご注意ください。

※9: ポリカーボネートやABSは、耐溶剤性に劣るため、本品をローラー、はけで塗装すると表面に割れを生じると共に、白濁する可能性がありますので、スプレーにて薄く塗装してください。

※10: 屋根材の既存塗膜の劣化が激しい場合や素地面が露出し、ぜい弱な場合は、塗替え塗膜の剥離の原因となる可能性があるため、塗装を避け、屋根材の貼り替えをお薦めします。洋風コンクリート瓦(モニエル瓦など)、いぶし瓦には使用しないでください。化粧スレート瓦などで上下の板の重なり部分にすき間が少ない場合は、塗装前にスペーサー部材(タスペーザーなど)を挿入し、排水機能を維持してください。

※11: 下地に付着した切削油、離型剤や、さび等が残存すると剥離を生じる可能性がありますので、必ず脱脂、ケレンを行い、完全に除去した上で塗装してください。溶融亜鉛めっきや黒皮鋼板は剥離を生じやすいため、塗装する場合は必ず十分な下地処理を行ってください。

※12: 金属に対する防錆効果はありません。錆を生じやすい金属等は、フラッシュラスト(点さび)を生じる可能性があります。

適合上塗塗料 (主な商品名)

- 合成樹脂エマルションペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダンSi)
- つや有合成樹脂エマルションペイント(ユニシリーズ、エコシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ウォールバリア水性シリーズ)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 超撥水高耐候形水性つや消し塗料(ビーズコートシリーズ)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ビューレ、セラビューレ)
- 弱溶剤系塗料
(1液ワイドペイズコートシリーズ、ニューモルコンシリーズ、ワイドシリーズ、弾性ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドエポーレシリーズ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボシリーズ、ラフトンローラーシリーズ)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュシリーズ)

※上塗りにクリヤーやカラークリヤー塗料を使用しないでください。

標準塗装仕様

塗 料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗装間隔(23°C)
ワンダープライマー	100	0.08~0.10	※ 1時間以上

塗付量は、標準的な数値です。被塗物の形状や、下地の状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

下地の吸い込みが著しい場合は2回塗り、工程内での塗装間隔は1時間以上

無希釈の設定ですが、粘度調整が必要な場合には、スズカシンナー#1000を用いて希釈してください。

※上塗りに水系塗料、仕上塗材、つや消し塗料を使用する場合には、塗装間隔を3時間以上取ってください。

塗装方法

- はけ塗り ●ローラー塗り ●スプレー塗り ●エアレス塗り

塗替時の注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・チヂミ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。
ふくれ・チヂミ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
- また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。
- 旧塗膜の耐溶剤性が劣る場合、リフティングを生じる可能性がありますので、スズカシンナー#1000を含ませたウエスで塗膜を押さえる等の方法で、耐溶剤を確認した後に塗装を行ってください。
- 旧塗膜が模様材や、弾性系の塗材の場合、下地がシーリング材などの可塑剤を含む素材の場合には、塗装後の塗膜にべたつきを生じる恐れや、膨れを生じる恐れがありますので、塗装は避けてください。

塗装上の注意事項

- 気温5°C以下、湿度85%以上または結露、降雨、降雪、強風のおそれのある場合は塗装を避けてください。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので養生、塗装時及び塗装後の換気を十分に行ってください。
- 各種基材において、十分に密着性の確認を行っておりますが、メーカー・種類によっては密着性が安定しない場合があります。
また、新素材及び特殊素材等は、試験塗装の上、密着性を確認した後にご使用ください。
- 基材表面に付着した藻、煙草、油分などの汚染物質や、基材表面に残存した撥水剤、離型剤、洗剤などは、剥離の原因となる可能性がありますので、必ず脱脂、洗浄、目粗し等により十分に除去した上で塗装を行ってください。
- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタス、エフロレッセンス、汚れなどを除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、希釈せずに、そのままご使用ください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下塗料の乾燥が不十分な状態で、上塗塗料を塗装しますと、上塗塗料にはじきや付着不良などの不具合を生じる可能性がありますので注意してください。
- 溶剤系塗料と水系塗料が混ざりますと、顕著なはじきを生じます。乾燥不十分な溶剤系塗料が付着したローラーで水系塗料の塗装は避けてください。
- 高温時などの塗装で、糸引きが生じましたら、スズカシンナー#1000を5%以内で希釈し、ご使用ください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー#1000をご使用ください。
- スプレー・ミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よこれを作生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイト系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

取扱い上の注意事項

●製品を正しく安全にご使用いただくために、下記事項を守ってください。

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
 - ・防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻タオル・保護手袋・前掛けなど
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合は、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
特に下記場所の保管は避けてください。
 - ・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結が予測される場所など
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときは安全データシート（SDS）をご参照ください。
SDSは当社ホームページよりダウンロードしてください。

弱溶剤系・溶剤系シーラーを用いる場合は、上記の取扱い上の注意事項と、下記事項を合わせて注意してください。

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
 - ・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣
 - ・えり巻タオル・保護手袋・前掛けなど
- 取扱い中や保管時に水分が混入しないように注意してください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。また、屋外で使用する場合は、家屋の換気口、空気取り入れ口などから溶剤蒸気が室内に入らないように目張りなどをしてください。
- 臭いは食料品・飲食器・衣類などにうつる場合がありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス消火器・泡消火器・または粉末消火器を用い初期消火をしてください。

※カタログに記載されていない素地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塙浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255	取扱店
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621	
九州支店 ☎092-938-0071	

59

□本カタログの内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

22/06

URL <https://www.suzukafine.co.jp/>

